

第 409 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 7 年 3 月 4 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] K-MIX モーニング ラジラ
[放送日時] 令和 7 年 2 月 3 日 10 日 17 日 24 日 3 月 3 日(月)
10:20～10:25 『WE ARE ARROWS』
令和 7 年 2 月 28 日 (金)、3 月 3 日 (月)
8:30～8:40 『SUZUKI マスタートーク』
[出演者] 高橋正純・東レアローズ静岡選手・スタッフ・ マスター
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
委員 小野晃司 委員 土屋維子
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部専任部長 鈴木秀明
編成制作部担当部長 寺田和史
5. 事務局報告 ○ 2024 年度 3 月期の現状と 2025 年度の経済トレンドと予測の報告
6. 番組審議 [番組名] K-MIX モーニング ラジラ
[放送日時] 令和 7 年 2 月 3 日 10 日 17 日 24 日 3 月 3 日(月)
10:20～10:25 『WE ARE ARROWS』
令和 7 年 2 月 28 日 (金)、3 月 3 日 (月)
8:30～8:40 『SUZUKI マスタートーク』
[出演者] 高橋正純・東レアローズ静岡選手・スタッフ・ マスター
[番組内容] 朝にマストなニュースはもちろん、音楽チャートや
新商品など、より「使える」インフォメーション満載の
3 時間半。
2 月に開始したバレーボール SV リーグ加盟の
男子バレーボールチーム「東レアローズ静岡」の
選手・スタッフが週替わりで生出演するコーナー
『WE ARE ARROWS』と
番組開始当初より続く、その道のプロ＝マスターが
毎日登場するインタビューコーナー
『SUZUKI マスタートーク』。

[聴取・合評での主な意見]

加藤委員

WE ARE ARROWS は選手の皆さんが高橋正純さんの質問等にしっかり受け答えして、それぞれのキャラクターも伝わり、コーナー開始のこの時期としては、好感が持てた。今後のコーナー展開が、全選手を取り上げて行くのか他の手法をとるのか、チームを応援しているバレーボール好きの聴取者に向けた内容にするのかバレーボールファンを広く増やして行く内容にするのか。番組のスタンスが重要になって来るとされる。

マスタートークは高橋正純さんのうまさが際立っていた。一点気になることがあるとすれば、高橋正純さんが、全情報を微細にしてくれるがゆえに、出演者の発言が少なく感じる。もう少しだけ、出演者のトークがあってもよいと思う。出演者がスタジオに來ている回はやはり、その場の雰囲気により伝わってきてよかった。

土屋委員

WE ARE ARROWS はチームの広報的要素もあるので、選手の自覚もとても大切だが、高橋正純さんもうまく選手の良さを引き出している。今はコーナーの開始時期なので、大きな問題は感じられないが、やはり、今後の展開に思いが向かってしまうので、選手が一通り出演した後の展開が難しいと思われる。チームをK-MIX がどのように後押しして行くかが大切な要素の一つではないだろうか。

マスタートークは、高橋正純さんの話力なのか出演者を選ぶ方法がよいのか。自然な流れで楽しく聴くことができ、情報もたくさん入ってきて、秀逸のコーナーだと思う。このコーナーは今のスタンスを継続してそのままでよいと思う。

小野委員

WE ARE ARROWS はコーナー開始の最初に時期にチーム名を知ってもらうことを含めてその魅力を選手に語ってもらい、ファンを増やし、さまざまな応援者を増やして、最終的に試合の動員をはじめ、バレーボールの定着させる広報を行うとよいのではないだろうか。やはり、今後の展開が気になるコーナーである。

マスタートークは高橋正純さんの話の展開がうまい。出演者の人柄、人物像をリスナーにはっきりと伝えてくれる。一方で、コーナー自体が、少し長いので、話の随所・随所にその日の店名や商品名を入れてあげると、さらに、興味を引くことができるのでよいのではないだろうか。

服部委員

WE ARE ARROWS は選手それぞれに個性があるのはもちろんだが、高橋正純さんの、それぞれの選手の人柄を引き出す話術はさすがである。選手紹介だけではなく、チームとリスナーをつなぐ架け橋になっている。今の世の中、プロは例えばスポーツだけではなく、社会貢献をすることも求められているので、既にファンである人は理解しているところもあると思われるが、これからファンになってくれる人にもスポーツを通して伝えて行ってほしい。

マスタートークは出演者に明確に話をしたい事柄があるので、比較的話題はあるのだが、高橋正純さんのトーク力は絶妙である。出演者がトークに乗ってきていることがはっきりと伝わってくる。

角田副委員長

WE ARE ARROWS は、コーナー開始時期の今は、現在の展開で、良いと思う。しかしながら、二巡目に入ってきたら、より深い質問を用意して、選手それぞれの個性をよりはっきりと認識させる問いかけがあると興味をひくのではないだろうか。今後、番組として、このコーナーをチーム推しにするのか、選手推しにするのかを意識して進めてみるのも方法の一つではないだろうか。

マスタートークは、新コーナーの WE ARE ARROWS とは違って、明らかに高橋正純さんの声のトーンに余裕を感じることができた。このトーク力を持つ高橋正純さんの今後、さらに期待をしたい。

木宮委員長

全体的に WE ARE ARROWS は今後の展開に注目、マスタートークは番組の安定感を意識することができる。WE ARE ARROWS は東レ側の番組に対する期待、目指すところを聞き取りながら進めて行くことが必要と思われる。一般的にスポーツ選手にとっての月曜朝の番組出演は、なかなかハードルが高いと言われているが、生での出演を今後も行っていくのか、いい時間に収録して月曜のコーナーで放送するのか等考えてみることも良いのではないだろうか。

マスタートークはトークが弾むほど画が見たい欲求にかられる。商品そのものの画像や、高橋正純さんが商品を手を取っている画像を X 等であげて欲しい。出演方法は生の（対面）出演が明らかに良い。

会社サイド

静岡県をホームにしているスポーツチームが多くある中で、県の地域を越えた全県をファンにしたいという動きも出始めている。地元ファンに加えて広く県域のファンをどう獲得してゆくのかも今後の課題と思われる。チームとの会話も深く密に継続してゆきたい。

マスタートークは、トーク番組の中でも特に出演者選び、アピールポイント、進行内容の吟味に高橋正純さんのトーク力が加わっての番組開始時期から現在までの12年積み上げてきたものなので、これからも弛まぬ努力を続けて行きたい。

以上

次回開催日 令和7年4月8日(火) 11:00～13:00を予定

番組審議会委員長

木宮敬信